

# 《 農業普及技術課 》



新たな技術の開発・普及、経営支援に一体的に取り組むとともに、危機事象に負けない力強い産地づくりを推進し、持続可能な魅力ある農業を実現します。

— 農業普及技術課 —

## 1 重点目標

- ① 多様なニーズに対応した革新的技術の開発・普及
- ② 攻めの農業を進める力強い産地づくり
- ③ 農業経営支援対策の強化
- ④ 危機事象に強い産地づくりの推進

## 2 令和4年度事業の概要

### ① 多様なニーズに対応した革新的技術の開発・普及

#### ○ マーケット対応型産地競争力強化技術開発事業

14,053千円【研究企画担当】

「儲かる農水産業」を実現するため、産地競争力強化に直結する政策上重要な課題に研究資源を集中するとともに、技術開発段階から産地やマーケットの要望を取り入れ、低コスト化・高品質化に向けた革新的な技術開発を目指す。

### ② 攻めの農業を進める力強い産地づくり

#### ㊦ みやざき農業DXスタートアップ事業(51ㄱ) 9,733千円【普及企画担当】

スマート農業の普及・定着に向け、デジタルデータを効果的に活用し、生産性向上を実現するため、指導人材の育成やデータの活用、民間企業等との連携強化を図る。

#### ㊧ 農業で「稼ぐ」経営力強化事業(49ㄱ) 22,613千円【普及企画担当】

農業の担い手が減少・高齢化する中、経営管理能力の高い産地の担い手を育成するため、新規就農者や主業農家への経営コンサルティング及び大規模・法人経営の伴走支援体制の構築や指導人材の育成とともに、地域の共通課題を解決するサポート体制の整備を図る。

#### ㊨ 持続可能なみやざきグリーン農業構築事業(53ㄱ) 44,186千円【環境保全担当】

環境にやさしい持続可能な農業を構築するため、減化学肥料・減化学農薬及び高品質・多収量に繋がる宮崎方式ICM技術の拡充や、温室効果ガス削減技術等の普及に向けた実証を行うとともに、有機農業の産地育成を推進する。

### ③ 農業経営支援対策の強化

#### ○ みやざきの農を支えるひなた資金融通事業(47ㄱ) 31,060千円【農業金融担当】 【融資枠 120億円】

安定した経営体の育成・強化と農業の成長産業化を目指すため、農業近代化資金による重点的な支援を行うとともに、危機事象対策や農業経営の負担軽減支援策を引き続き推進する。

また、コロナ禍における農業者の資金繰りを支援するため、経済変動・伝染病等対策資金を拡充し、資金調達の円滑化を図る。

#### ④ 危機事象に強い産地づくりの推進

- **活動火山周辺地域防災営農対策事業（46号）**      **71,729千円【環境保全担当】**  
桜島の降灰による農作物被害を防止・軽減するため、被覆施設、降灰機械等の整備や被覆資材の更新等を支援し、農家の経営安定を図る。

**農業普及技術課**

直通電話番号 0985-26-7133

F A X 番号 0985-26-7325

E - m a i l [nogyofukyugijutsu@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:nogyofukyugijutsu@pref.miyazaki.lg.jp)

事業名	活動火山周辺地域防災営農対策事業	新規・改善・ <b>既定</b>	課名	農業普及 技術課
		<b>国庫</b> ・ <b>県単</b>		
<p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>活動火山対策特別措置法に基づき、桜島の降灰による農作物の被害を防止・軽減するため、被覆施設、除灰機械等の整備や被覆資材の更新等を支援し、農家経営の安定を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 71,729千円</p> <p>(2) 財源 国庫：65,070千円 一般財源：6,659千円</p> <p>(3) 事業期間 令和2年度～令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 営農集団、JA等</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① 農村地域防災減災事業 71,574千円  降灰被害防止・軽減のための土壌矯正並びに施設・機械等の整備  被覆施設：国50/100以内、県10/100以内  (中山間地域：国55/100以内、県5/100以内)  除灰(洗浄)機械：国50/100以内、県10/100以内</p> <p>② 推進事務費 155千円</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>被覆施設、除灰機械等の整備や被覆資材の更新等により、農作物の被害を防止・軽減し、農家経営の安定が図られる。</p>				

事業名	みやざきの農を支えるひなた資金融通事業	新規・改善・ <b>既定</b>	課名	農業普及技術課
		<b>国庫</b> ・ <b>県単</b>		
<p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>安定した経営体の育成・強化と農業の成長産業化を目指すため、農業近代化資金による重点的な支援を行うとともに、危機事象対策や農業経営の負担軽減支援策を引き続き推進する。</p> <p>また、コロナ禍における農業者の資金繰りを支援するため、経済変動・伝染病等対策資金を拡充し、資金調達の円滑化を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 31,060千円</p> <p>(2) 財源 国庫(臨時交付金)：7,021千円 一般財源：24,039千円</p> <p>(3) 事業期間 令和2年度～令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 融資機関、市町村、県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① 農業近代化資金利子補給金 20,625千円 規模拡大や設備投資を図るための資金に対して利子補給 (融資枠 100億円、利子補給率 県1.3%、重点支援上乘せ分 県最大1.0%)</p> <p>② 災害資金、経済変動・伝染病等対策資金利子補給金 7,265千円 経営の維持安定・再建を図るための資金に対して利子補給等 (通常融資枠 2億円、利子補給率 県0.65% コロナ融資枠 5億円、利子補給率 県0.73%、保証料助成率 県10/10)</p> <p>③ 農業経営負担軽減支援資金利子補給金 488千円 営農負債の借換えを行うための資金に対して利子補給 (融資枠 2億円、利子補給率 県1.3%)</p> <p>④ 肥育素牛価格変動対策資金利子補給金 2,682千円 近年の肥育素牛価格の高騰に対応するための資金に対して利子補給 (融資枠 11億円、利子補給率 県1.3%)</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>農業者の投資や償還負担の軽減等による経営改善等を金融面から支援することにより、効率的・安定的な経営展開が図られる。</p>				

# みやぎきの農を支えるひなた資金融通事業

～ 農業者が持続的かつ安心して営農に取り組めるよう長期かつ低利な制度資金を融通 ～

## 民間融資機関

### 農業近代化資金

- 規模拡大や設備投資を図るための資金  
融資枠 100億円  
貸付限度額 個人1,800万円(特認2億円) 法人2億円  
貸付利率 0～0.3%

### 災害資金、経済変動・伝染病等対策資金

- 経営の維持安定・再建を図るための資金  
融資枠 2億円  
貸付限度額 個人・法人ともに300万円  
貸付利率 0.16%(当初5年間)

- ◆コロナ禍における資金繰りを支援強化  
融資枠 5億円  
貸付限度額 個人・法人ともに1,000万円  
貸付利率 0%(当初5年間)  
保証料助成 全額

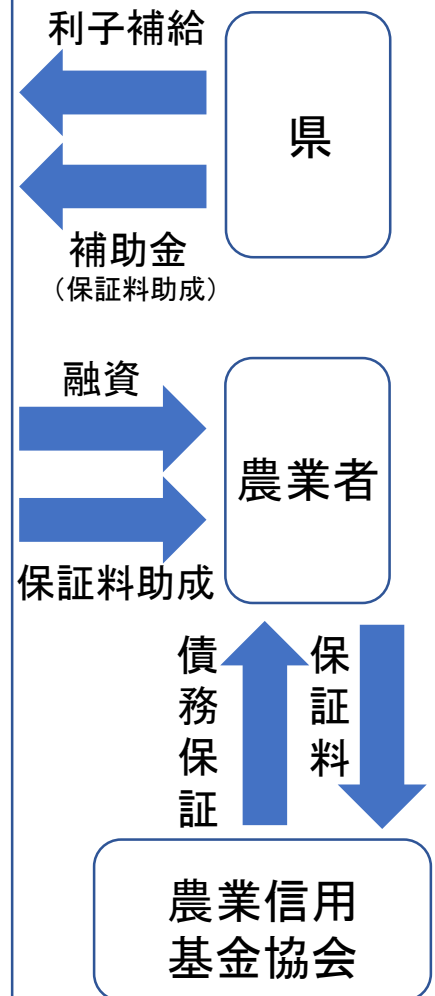
コロナ  
対策

### 農業経営負担軽減支援資金

- 営農負債の借換えを行うための資金  
融資枠 2億円  
貸付限度額 農業負債の残額  
貸付利率 0.3%

### 肥育素牛価格変動対策資金

- 近年の肥育素牛価格の高騰に対応するための資金  
融資枠 11億円  
貸付限度額 個人・法人ともに5,000万円  
貸付利率 0.3%



※ 保証料助成は経済変動・伝染病等対策資金のみ  
(指定事象：新型コロナウイルス感染症による影響)

※ 貸付利率は令和4年1月現在

事業名	農業で「稼ぐ」経営力強化事業	新規・ <b>改善</b> ・既定	課名	農業普及 技術課
		<b>国庫</b> ・ <b>県単</b>		
<p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>担い手が減少・高齢化する中、経営管理能力の高い産地の担い手を育成するため、新規就農者や主業農家への経営コンサルティング及び大規模・法人経営の伴走支援体制の構築や指導人材の育成とともに、地域の共通課題を解決するサポート体制の整備を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 22,613千円</p> <p>(2) 財源 国庫：700千円 一般財源21,913千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度～令和6年度</p> <p>(4) 事業主体 宮崎県農家経営支援センター、県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① 産地の担い手経営支援事業（1／2以内） 5,070千円 経営健康診断によるモニタリングと新規就農者向けの経営コンサル、産地ビジョンの作成・実現、産地の共通課題を解決するサポート体制の整備を支援</p> <p>② 支援センター運営・法人等経営強化事業（1／2以内） 14,399千円 農家経営支援センターの運営支援及び法人等経営コンサル、体系的農業者研修、指導員のコーディネート能力向上研修を実施</p> <p>③ 経営指導人材活躍事業 3,144千円 農業経営指導士や普及指導員による経営支援活動を実施</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>農業経営体の発展段階に応じた伴走支援の充実・強化及び産地の課題解決をサポートする体制整備により、担い手の経営改善や規模拡大が進み、産地力の強化が図られる。</p>				





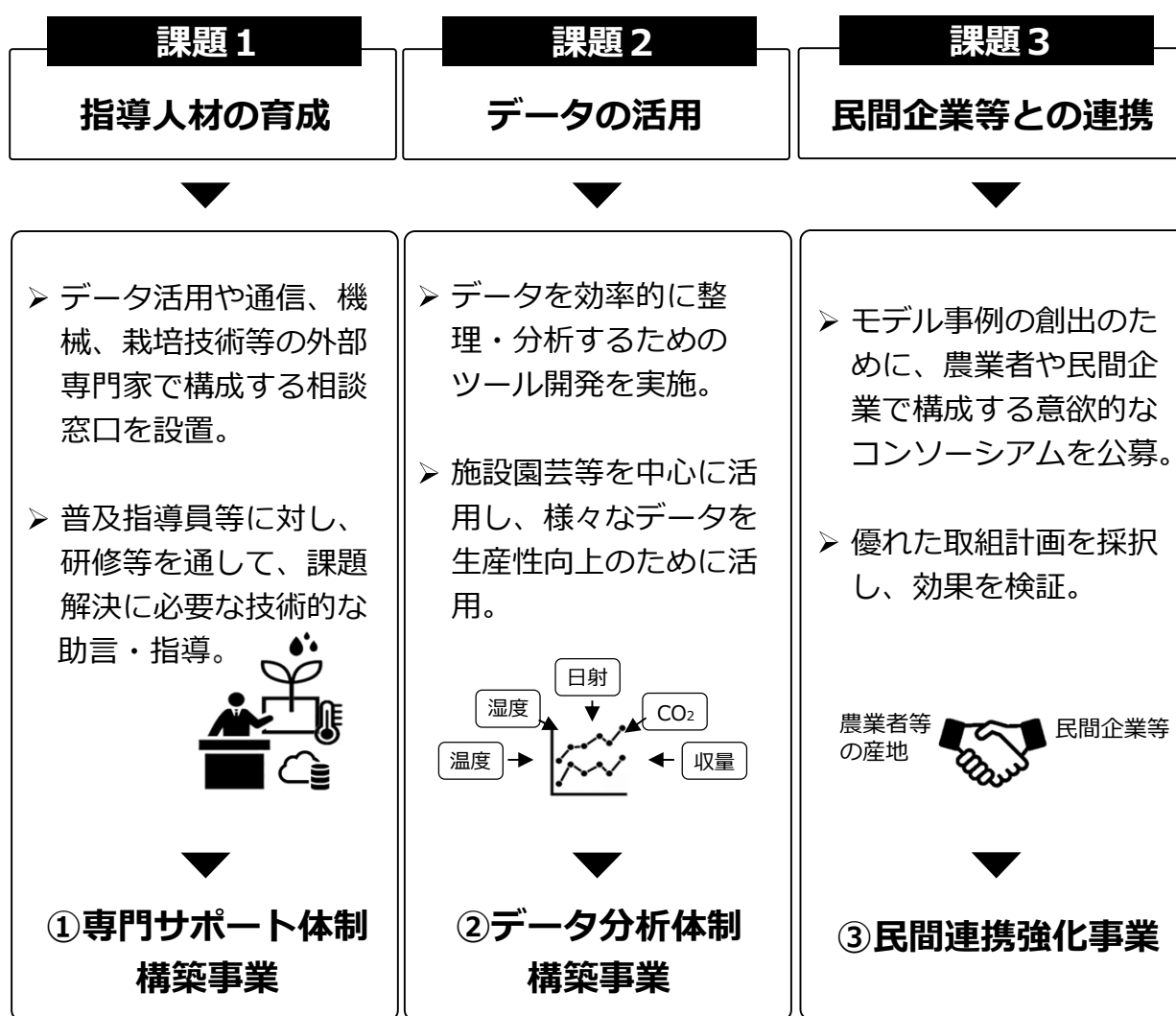
事業名	みやざき農業DXスタートアップ事業	新規・改善・既定	課名	農業普及 技術課
		国庫・県単		
<p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>県内産業において、生産性向上を実現するためのデジタルシフトが求められる中、農業分野においては、これまで、スマート農業技術の普及推進を行い、県内でもその活用が始まっている。</p> <p>今後、スマート農業技術の更なる普及・定着に向けてデジタルデータを効果的に活用するため、農業者の支援を行う指導人材の育成やデータの活用、民間企業等との連携強化を推進する。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 9,733千円</p> <p>(2) 財源 国庫：4,866千円 一般財源：4,867千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度～令和6年度</p> <p>(4) 事業主体 県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① 専門サポート体制構築事業 2,233千円 デジタル技術等の活用に向け、外部専門家で構成する相談窓口を設置し、指導人材に対する研修等を通じた人材育成を実施</p> <p>② データ分析体制構築事業 2,500千円 施設園芸等におけるデータ活用のための分析ツールの開発や活用を実施</p> <p>③ 民間連携強化事業 5,000千円 民間企業等と連携しながら、データやロボット等を活用した新たな栽培方式の検証等により、県内のモデル事例を創出</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>《スマート農業導入戸数の増加 耕種 令和元年度 428戸 → 令和7年度 1,120戸》</p> <p>農業現場におけるスマート農業技術の普及・高度化により、生産性の向上が図られる。</p>				

# みやざき農業DXスタートアップ事業

## 1. 現状

- 県では、令和元年に「みやざきスマート農業推進方針」を策定するとともに、県内事例の収集や分野毎の具体的なロードマップ等を示しながらスマート農業を推進。
- 一方で、スマート農業技術の普及・定着のために新たな課題も生じている。

## 2. 課題と具体的な取組内容



指導人材が育成されるとともに、  
データ活用や民間連携の取組が加速し、生産性向上を実現

事業名	(みやざき農水産業グリーン化推進事業) 持続可能なみやざきグリーン農業構築事業	新規・改善・既定	課名	農業普及 技術課
		国庫・県単		
<p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>環境にやさしい持続可能な農業を構築するため、減化学肥料・減化学農薬及び高品質・高収益に繋がる宮崎方式ICM技術を拡充するとともに、温室効果ガス削減技術等の普及に向けた実証や、農薬の効果的で適正な使用を推進する。</p> <p>また、県の有機農業推進方針に基づき、有機農業への取組を支援し、技術指導者の育成など有機農業拡大に向けた推進体制を整備する。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 44,186千円</p> <p>(2) 財源 国庫：34,494千円 その他：2,500千円 一般財源：7,192千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度～令和6年度</p> <p>(4) 事業主体 市町村、協議会、植物防疫協会、 冷凍野菜加工事業者連携推進協議会等、県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① みやざきグリーン農業技術実証事業 13,649千円 環境にやさしい農業の展開に向け、宮崎方式ICM指標の拡充並びに減化学肥料・減化学農薬、温室効果ガス削減等の技術実証の支援</p> <p>② みやざきグリーン農業技術現場実装加速化事業 19,290千円 環境にやさしい農業の実践に向け、宮崎方式ICM技術や温室効果ガス削減技術の指導體制の整備、農薬の効果的で適正な使用に向けた取組の支援</p> <p>③ みやざきグリーン農業ステップアップ支援事業 11,247千円 有機農業の取組拡大に向け、有機農業を推進する市町村の取組の支援及び技術指導者の育成、推進体制の整備</p> <p><b>3 事業効果</b> 《有機JAS認証面積 令和元年 335ha → 令和7年 523ha (うち茶174ha)》</p> <p>減化学肥料・減化学農薬や温室効果ガス削減等の技術の普及や有機農業の取組拡大により、環境にやさしい農業が展開し、安心・安全な農業・農村の実現に繋がる。</p>				

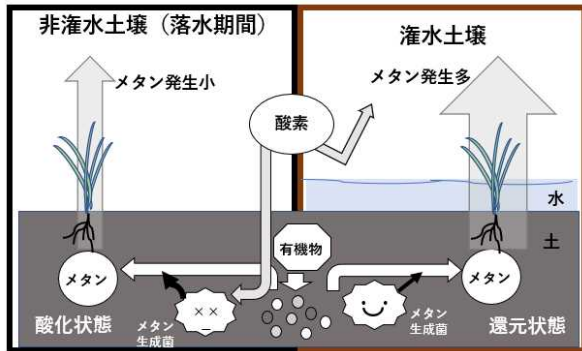
# 持続可能なみやざきグリーン農業構築事業

～ 環境に優しい農業の構築・有機農業拡大に向けた取組の推進～

## 具体的な取組内容のイメージ

### ①みやざきグリーン農業技術実証事業

●温室効果ガス削減技術等の実証や地域・未利用資源の活用、宮崎方式ICM指標の拡充等を実施



中干し延長

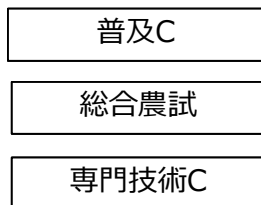


混合堆肥複合肥料

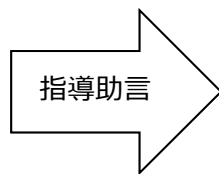
環境に  
やさしい  
農業技術実証

### ②みやざきグリーン農業技術現場実装加速化事業

●温室効果ガス削減技術、宮崎方式ICM技術の普及拡大支援



普及拡大に必要な体制整備

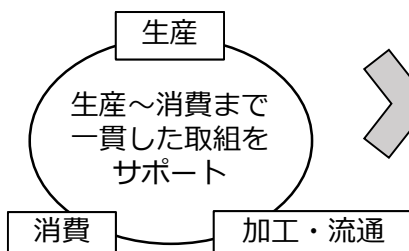


技術実践を行う集団等へのサポート

環境に  
やさしい  
農業の拡大

### ③みやざきグリーン農業ステップアップ支援事業

市町村主導での  
有機農業の取組を支援



推進体制の整備構築

- ・研修会等による指導者育成
- ・指導助言のための体制整備
- ・推進体制の構築

みやざき  
グリーン農業  
構築

環境にやさしい農業の展開による持続的で安全・安心な農業・農村の実現

宮崎方式ICM技術の普及拡大 有機農業の取組の拡大